

あなたのクラスで  
やってみませんか!

ユニセフの



# 開発のための教育

## 「貧困ってなんだろう?」—みんなで考えてみよう!



©日本ユニセフ協会

8月21日(木)、日本ユニセフ協会では夏休みユニセフリーダー講座が行われ、52名の中学生・高校生が参加して熱心にユニセフ学習に取り組みました。今号では、講座の中で実施したアクティビティをご紹介します。開発途上国のきびしい状況を理解するための取り組みやすい内容です。ユニセフ学習、総合的な学習の時間、文化祭のイベント、ユニセフ募金のための事前学習にぜひ行ってみてください。

・ユニセフリーダー講座は、毎年8月に行っています。

### 目的

ユニセフが事業をしている開発途上国の子どもたちのきびしい状況は「貧困」が大きな原因のひとつです。防げるはずの病気で命を失う。栄養が十分でない。学校に通えず、働かなくてはならない…など、日本で生活する子どもたちと生活環境が大きく異なっています。

「貧困」とは何か? 「貧困」は子どもたちにどんな影響を及ぼしているのか? アクティビティを通して考えます。

所要時間のめやす 60分

人数 4人~6人のグループで何グループでも。

用意するもの 模造紙。サインペン。意見を書き込むふせん(正方形の大きさが使いやすい)

### アクティビティのすすめかた

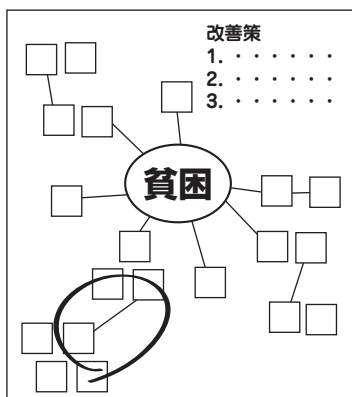


#### ステップ1

25分

#### 意見を出し合おう

- ① グループでじゃんけんをして、勝った人が進行役をする。
- ② 模造紙の真ん中に「貧困」と大きく書く。
- ③ 各自、「貧困」から思い浮かぶことをふせんに書き込み、模造紙の真ん中の貧困のまわりに貼りつける。同じような意見はまとめる。
- ④ それぞれの意見と、中心に書いた「貧困」を線で結ぶ。
- ⑤ 出てきた意見から、さらに思い浮かぶこと、つながりがあると思うことをふせんに書き込み、まわりに貼りつける。同じような意見はまとめる。
- ⑥ 最初に出た意見から、さらに出てきた意見へ線を引く。(図参照)



#### ステップ2

20分

#### ユニセフ職員になって改善プランを考えよう

- ① たくさん出た意見、関心が集まっている意見を見て、自分たちが「貧困」をどのように認識しているか、問題だと考えているかについてグループで話し合い、さらに話し合いを進めていく意見を丸印で囲む。(図参照)
- ② 丸印で囲んだ部分を改善するために、どんな活動をすればよいか、ユニセフ職員になったつもりで考えよう。どんなプランを立てればよいか意見を出し合い、模造紙のあいている部分に書き込む。(図参照)

#### ステップ3

15分

#### 発表を聞いていろいろな意見を知ろう

グループごとに発表する。

- どんなテーマで話し合ったのか。どんな改善策を考えたか。
- アクティビティを通して感じたこと。



©日本ユニセフ協会

#### 授業に活かそう 「貧困」を知るアクティビティ

アクティビティを通して疑問に思ったことや、わからないことを次の資料を参考にして調べてみましょう。このアクティビティは他のテーマ(戦争、児童労働など)にして行うことができます。

- 「ユニセフと地球のともだち」
- 「ユニセフ視聴覚ライブラリー」
- 「統計でみる子どもの10年(1990-2000)」

いずれも(財)日本ユニセフ協会発行  
ホームページからの資料の申し込み  
<http://www.unicef.or.jp/siryu/seikyuu.htm>

● 日本ユニセフ協会ホームページ <http://www.unicef.or.jp>

毎回、アクティビティをご紹介します。ぜひ、「やってみましたアクティビティ」のご報告をお待ちしています。